

総合的な鳥獣害対策推進のための交付金予算の確保

奈良県における取り組み

【担当省庁】 農林水産省

御礼 令和5年度当初予算で鳥獣被害防止総合対策交付金を前年度同規模で確保いただいたことに心より感謝。

- 野生鳥獣による農林水産業の被害防止に向け、鳥獣被害防止総合対策交付金を有効活用しながら、市町村を中心に地域ぐるみで取り組む**4本柱**の活動を総合的に進めている。
- 令和元年度より、鳥獣被害が拡大しつつある地区等において、普及指導員が防止対策指導にあたり、地域住民が集落ぐるみで被害対策に取り組む活動を支援

総合対策の4本柱

- 1) 人材の育成
 - ① 地域指導者の育成
 - ② 地域における狩猟者の確保・育成
- 2) 生息環境管理
 - ① 里地里山の環境整備活動の推進
- 3) 被害の防除
 - ① 有害鳥獣を寄せ付けない環境づくり
 - ② 農林地等への侵入防止柵の設置
- 4) 個体数調整
 - ① 有害鳥獣の捕獲・駆除
 - ② 狩猟期間の延長等の規制緩和



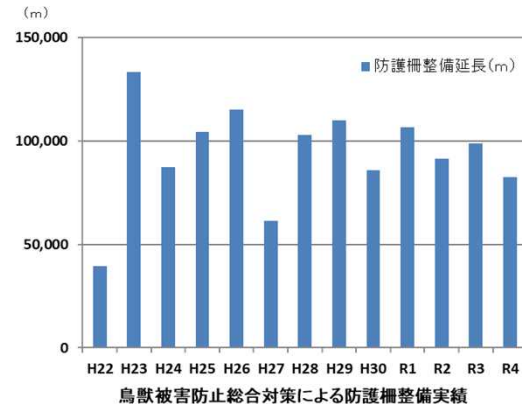
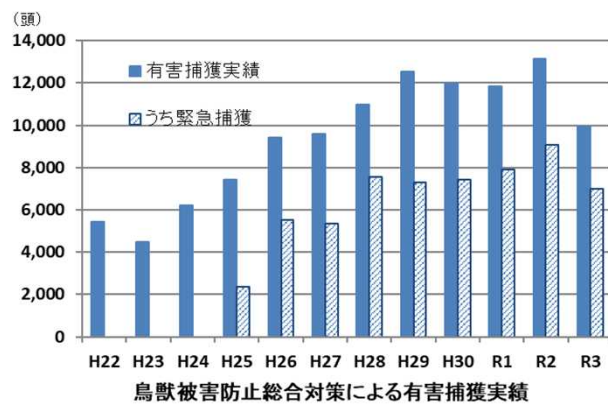
ICT捕獲檻活用研修会



捕獲檻の設置作業

鳥獣被害防止総合対策交付金による事業の実施

令和3年度 26協議会 交付決定額 212百万円
 令和4年度 26協議会 交付決定額 223百万円



【優良事例】

鳥獣被害防止施設整備



共同作業による防護柵(ワイヤーメッシュ柵)の設置



テキサスゲート
シカ・イノシシの蹄が間隙に挟まるため、圃場への侵入を防止

ワイヤーメッシュ柵3,200m、テキサスゲート3カ所を一体的に整備したことで、
 ・ 維持管理の省力化、作業の効率化
 ・ 交通の利便性確保を実現



防護柵とテキサスゲートの設置箇所
 設置場所: 古田2団地 (五條市)

国にお願いすること

本県の鳥獣被害をさらに軽減するためには、
捕獲と防護の両輪による継続的な取組が必要です。

鳥獣被害防止総合対策交付金について、令和5年度予算を確保いただきましたが、有害捕獲や防護柵設置等を実施する当該交付金については、本県の鳥獣害対策の中核となっており、今後においても継続的かつ十分な予算の確保をお願いいたします。

【県担当部局】 食と農の振興部 農業水産振興課